

ガンの早期  
発見・治療に

『消化器内視鏡検査』を！



日本人の死因の1位はガンです。ガンの中では肺ガンが1位ですが、2年ほど前までは、胃ガンが死因のトップでした。近年、胃ガンの死亡率が大きく減少しているのは、検診回数増加や、消化器内視鏡の進歩によってガンを早期に発見できるようになったからといわれています。

それに比べて、大腸ガンの死亡率は年々高くなっており、10年後には胃ガンを抜くと予測されています。

今回は、胃ガンや大腸ガンの早期発見・治療に絶大な威力を発揮する『消化器内視鏡』をご紹介します。

消化器内視鏡検査って？

「胃カメラ飲んだらポリープがあったんやて」という、あの検査のことです。

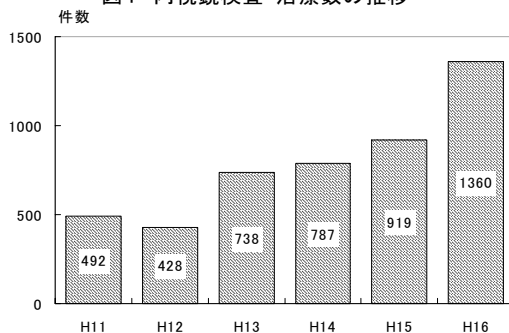
実際はカメラを飲み込むのではなく、先端に小型CCD（ビデオ撮影装置）がついたボールペンほどの細い管を医師が挿入し、モニター映像を見ながら消化器の中を観察します。

内視鏡検査の大切さ

胸焼けや食欲不振、腹痛や腹部の不快感、便秘と下痢を繰り返すなどの症状がある方はもちろん、

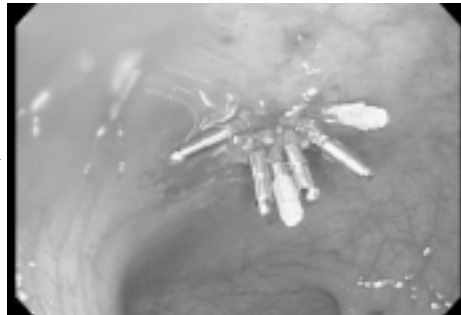
症状のない方にも定期的な消化器内視鏡検査をお勧めします。なぜなら、症状に乏しい早期方には、明らかな症状を伴う進行方

図1 内視鏡検査・治療数の推移





**▲大腸ポリープの治療①**  
大腸でできた2cm程のポリープ。自覚症状は全くない。放置すればガン化の可能性が高いため、ポリープを浮き上がらせてから切除する内視鏡手術を行った。



**▲大腸ポリープ治療②**  
ポリープ切除後、出血と穿孔(せんこう)を予防するためにクリップで縫合処置。クリップは数ヶ月後に自然にはずれ排泄される。切除を含め治療時間は20分程度で終了した。

ンに比べて格段に治療成績が良く、ほとんどが完治できるためです。  
胃ガン・大腸ガンは、早期発見・治療すれば決して怖い病気ではありません。

## 美濃病院の 消化器内視鏡専門スタッフ

内科医

安田 一郎

(やすだい ちろう)  
岐阜大学第一内科助手  
日本消化器内視鏡学会  
(指導医・認定専門医)



内科医

岩下 拓司

(いわした たくじ)  
岐阜大学第一内科  
日本消化器内視鏡学会



内科部長

岩城 真

(いわきま こと)  
日本消化器内視鏡学会(指導医・認定専門医)、日本消化器病学会(専門医)、日本内科学会(認定内科医)など



内科看護師  
長屋 典子  
(ながやのりこ)



内科看護師  
梅村 玲子  
(うめむられいこ)  
消化器内視鏡技師

### 優しい検査に

美濃病院では最新の内視鏡システムを導入し、岩城内科部長を中心とした専門スタッフ(消化器内視鏡の指導医2名、専門医1名、技師2名)によって、年間約1400件の消化器内視鏡検査を行っています。(図1参照)

そして『苦痛の少ない』『繰り返し受けていただける』『優しい検査の提供に努めています。』

「…あのつらい検査は死んでも受けたくない…」そんなイメージは過去のものです。

また、内視鏡は消化器を観察するだけでなく、さまざまな治療を行うこともできます。

◎胃や大腸にできたポリープや早期ガンを取る治療。

◎胃潰瘍や十二指腸潰瘍からの出血や、食道にできた静脈瘤の破裂による出血を止める治療。

◎病気で食道や胆管や腸のせまくなった場所を広げる治療。

◎総胆管結石といって、肝臓や胆のうから流れ出した胆汁が通る管にできた結石を取り出す治療。

これらの治療の他にも消化器内視鏡を使った高度な治療を専門スタッフが提供しています。

### 充実の消化器病スタッフ

内科医による消化器内視鏡を用いた疾患の診断や治療。

外科医による腹腔鏡を用いた最新の内視鏡下外科手術など。

美濃病院では充実した消化器病スタッフの連携により、レベルの高い診療が行われています。

(内視鏡検査で外科手術が必要とされた患者様のほぼ100%が当院で手術を受けられています。)

皆さんも『消化器内視鏡検査』を受けてみてはいかがですか？  
何でもお気軽にご相談ください。

※美濃病院 (☎0938-12221)